

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 8 月 19 日(2024.8.19)

【公開番号】特開 2024-101628(P2024-101628A)  
【公開日】令和 6 年 7 月 30 日(2024.7.30)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-141  
【出願番号】特願 2023-5637(P2023-5637)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 1 B

A 6 3 F 5/04 6 9 9

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 8 月 7 日(2024.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、遊技価値に関する表示を改良することを目的とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

30

本発明の第 1 の実施態様に係る遊技機は、  
遊技の進行に応じて遊技価値を付与可能な遊技機であって、  
画像表示手段（例えば、画像表示手段 7 2 X）と、  
セグメント表示器で構成され保有する遊技価値数を表示可能なクレジット表示手段（例え  
ば、クレジットセグ 1 4 X）と、  
を備え

前記画像表示手段は、  
付与された遊技価値数を示すことが可能な特定画像（例えば、ペイ画像）を表示可能であ  
り、

遊技価値の付与契機が発生したときに、前記特定画像を基本表示から当該付与契機に対応  
する表示に変化させる時間よりも短い時間で前記クレジット表示手段の表示を更新前の値  
から当該付与契機に応じた更新後の値にすることが可能である  
ことを特徴とする。

40

また、前記画像表示手段は、

遊技価値の付与契機が発生した場合に前記特定画像の数値の更新時に変化途中の値を表  
示することが可能であり、

前記クレジット表示手段は、遊技価値の付与契機が発生した場合の数値の更新時に変化途  
中の値を表示しない  
ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

この構成によれば、画像の方のセグと比べてゆっくりとすることで、数字の変化していく様子を遊技者に見やすく表現することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

本発明によれば、遊技価値に関する表示を改良することができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行に応じて遊技価値を付与可能な遊技機であって、

画像表示手段と、

セグメント表示器で構成され保有する遊技価値数を表示可能なクレジット表示手段と、

を備え、

前記画像表示手段は、

付与された遊技価値数を示すことが可能な特定画像を表示可能であり、

遊技価値の付与契機が発生したときに、前記特定画像を基本表示から当該付与契機に対応する表示に変化させる時間よりも短い時間で前記クレジット表示手段の表示を更新前の値から当該付与契機に応じた更新後の値にすることが可能である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記画像表示手段は、

遊技価値の付与契機が発生した場合に前記特定画像の数値の更新時に変化途中の値を表示することが可能であり、

前記クレジット表示手段は、遊技価値の付与契機が発生した場合の数値の更新時に変化途中の値を表示しない

ことを特徴とする請求項 1 の遊技機。

10

20

30

40

50